

株式会社あさひ荘が取得した資産の一部を市が買い取りへ 必要経費約1042万円を6月補正予算に計上

上越市は、株式会社あさひ荘が取得した資産のうち、「大島あさひ荘」の施設に必要な資産を買い取る方針を決め、6日から始まる6月定例市議会に提案することにしました。

市が買い取ることにしたのは、源泉のポンプ制御盤、空調循環ポンプ、送迎用車両など合計で143件で、総額は993万円（消費税込みで1042万円）となります。

「大島あさひ荘」は、これまで指定管理者となっていた株式会社あさひ荘が経営破たんしたことに伴い現在休館していますが、今回の資産買い取りは、地元などから「早期に再開してほ

しい」という声が強く出されている中で、市が再開に向けて準備に入ったとの見方が広がっています。

「大島あさひ荘」の今後の運営について、市は、3月23日の総務常任委員協議会の場で、

「現在休館している大島あさひ荘については、再開に向けて株式会社あさひ荘におけるこれまでの経営状況を分析し、改善策や運営体制などのあり方を検討している。再開の時期などは現在のところ決まっていないが、一定の方向性を見出した段階で、議会の皆さんにお諮りしたいと考えている」（市村総務管理部長、当時）と

買取資産一覧表（金額の単位は千円）

区分	内訳	数量	取得価格	未償却残高
厨房関係	給排水衛生設備、料理用エレベーター、業務用冷凍庫等	26	11,108	2,647
源泉関係	ポンプ制御盤、源泉管等	7	7,506	1,671
機械室関係	給湯器、地下タンク送油管、循環ポンプ等	11	3,848	807
空調関係	冷却塔、空調循環ポンプ等	5	1,584	629
浴室関係	露天風呂手すり、ジェットポンプ、風呂洗浄機等	13	5,462	603
車両関係	送迎用車両、ポータブルナビ等	7	4,318	468
客室関係	カラオケ、エアコン、耐火金庫等	11	3,789	420
事務室関係	パソコン、業務用耐火金庫等	9	1,854	150
食堂関係	アコーディオンカーテン、衝立等	5	1,122	65
その他	看板、商品陳列棚等	49	19,811	2,472
合計		143	60,402	9,932



のべていました。今回の提案は一定の方向性を見出した段階でのものか

6月定例議会日程（会議の開始時間はいずれも午前10時から）

月	日	会議名	会議室名	備考
6月	6日（水）	本会議	議場	提案説明、総括質疑
6月	7日（木）	建設企業委員会	第1委員会室	
6月	8日（金）	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員担当
6月	11日（月）	厚生委員会	第1委員会室	平良木議員担当
6月	12日（火）	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
6月	13日（水）	本会議	議場	一般質問
6月	14日（木）	本会議	議場	一般質問
6月	15日（金）	本会議	議場	一般質問
6月	18日（月）	本会議	議場	一般質問
6月	20日（水）	本会議	議場	討論、採決など

はわかりませんが、6月議会ではこれまでの取り組みの経過報告と共に、新たな方針が示されるのではないかと注目されています。（左の写真は現在のあさひ荘。30日撮影）

6月議会は20日まで

6月議会は6日から20日まで開かれることが決まりました。議員の定数が16人減ったことにより、一般質問の日はこれまで5日間から4日間に短縮されました。私は通学路の安全対策、災害対策などで一般質問を行う予定です。日程が決まり次第、お知らせします。

気持ちいいだろうなあ――シャワーで頭を洗ってもらっている叔母の様子を五メートルほど離れたところから眺めながらそう思いました。五月も半ばを迎えたある日の午後のことです。

八〇歳を超えたとはいえ、叔母の髪は豊かでした。たつぷりとシャワーを浴び、シャンプーもリンスもしてもらいました。タオルで髪を拭いたあとは乾燥です。ドライヤーで乾かす「ガー、ガー」という音を聞いたときに、一瞬、「叔母は生きてる」と錯覚しました。それほど音に現実感があったて、亡くなった人の髪を乾かしているとはとても思えなかつたからです。

櫛を入れてもらっているときも叔母は気持ちよさそうです。髪はきれいに整い、頬はふくよかで生き生きとしていました。

体を洗い、髪を整えてもらった叔母にたいする次のサービスは化粧です。これがまた見事なものでした。顔をマッサージした後、脱脂綿で丁寧に化粧水を取ります。ジュラルミンケースから化粧品を取り出す。化粧水を塗る。まだ三〇代といった感じの女性納棺師のあまりにも美しい手の動きに目を奪われました。

場所は埼玉県入間市にあるシティホール。私は一緒に出かけた大島区の従兄弟たちとともに叔母の湯灌（ゆかん）の様子を初めから終わりまで見せてもらいました。湯灌に立ち会った回数はずでに一〇回を超えています。儀式の場に湯舟を持ち込み、実際に湯を使って身体を洗う場面を見たのはこの日が初めてでした。

湯灌の儀式が終わったあとの納棺の儀式でも、「いいなあ」と思った場面がありました。棺に納めてから遺族・親戚など納棺に立ち会った者が一人ひとり、叔母の額や髪などに手を触れて合掌する機会が設けられていたのです。

化粧してもらった叔母はとていい顔になっていました。叔母の髪を何度もなでる人がいました。頬にそっと手を当てる人もいました。やり方は様々でしたが、叔母に触れた一人ひとりの想いが叔母に伝わっていくように思えました。隣の席の人が叔母に触れるやり方にならって、私も叔母の額にさわらせてもらいました。この、ちょっとしたスキンシップによって叔母がぐんと身近に感じられました。

叔母は母の弟の連れ合いです。長年、夫婦で力を合わせて牛乳配達の仕事をしていました。母とは気持ちの通じるところがあつたのでしよう、叔父が交通事故で亡くなったから、一年に何度かは電話で話をしていたようです。母が餅などを送ると、叔母はお返しに狭山茶を送ってくれたものです。

叔母は長年、糖尿病を患っていました。糖尿病を原因とした腎不全などの合併症を引き起こしてからは危ない場面も何度かあつたようです。もちろん、大好きな温泉にも思うようにいけなくなりました。

叔母は自分がどんなに大変な状況におかれていても、自分のことよりも家族や他人のことを気遣う人でした。告別式の挨拶のなかで従妹が教えてくれました。病気が悪化して親子の最後の会話となった時も、叔母は、「食べたか」「寝たか」と従妹たちに声をかけ、心配していたというのです。それだけに、最後の最後の場面で、大好きな風呂の気分を叔母に味わってもらおうとできて本当に良かったと思います。埼玉の叔母が亡くなったことにより、母の姉妹とその連れ合いのなかで生きているのは母と大島区板山の伯母だけです。さみしくなりました。

今年もスマイルカフェ始まる

新潟県立吉川高等特別支援学校で今年度第1回目のスマイルカフェが5月24日、同校で行われました。



カフェのスタッフは4月に入学したばかりの1年生です。応援の先生方もおられました。この日もお客さんは大勢で、「待合室」で30分ほど待ちました。

今回のカフェの会場は、3階の実習室（?）。オレンジ色のエプロンとバンダナを身に付けた生徒は大きな声でお客を迎えていました。でも、みんな初めてです。緊張しているのがよくわかりました。私たちのテーブルへコーヒーを運んでくれた生徒はコーヒーをテーブルの上に置く時、カップが斜めになり、コーヒーがこぼれるのではないかとハラハラしました。でも、大丈夫でした。こぼれず、うまくいきました。窓際にいた先生も心配でたまらなかつたのでし

う、笑顔はありませんでした。この日の経験は生徒にとっていい社会勉強になったことと思います。

4月の暴風被害まとめ

重軽傷9人、住家被害は323件にも

4月3日、4日に発生した暴風被害の状況について最新データが明らかにされました。

防災危機管理課によると、人的被害は重傷者4人、軽傷者5人で、合計9人です。建物被害は、住家で323件、非住家で611件にもなりました。いずれも5月24日現在の数値です。

住家の被害の内訳は大規模半壊が1件、半壊が3件、一部損壊が319件です。

一部損壊以上の被害を受けた建物から出た廃棄物については5月12日

まで、受け入れが行われました。処理施設へ搬入された可燃物は倒木など223件、約45トン、不燃ごみは57件、8.8トンに上ります。

写真は飛ばされた屋根のトタン。(吉川区原之町)

